

## 認知症に関する活動計画（概要）

高知県作業療法士会では、2017年度より認知症の人に対応できる人材育成と作業療法士の地域参画を目的に、地域連携部認知症班として活動を行なっている。

新型コロナウイルス感染対策を講じながら認知症の人への対応力の基礎作りとして、アップデート研修の実施を行っている。地域事業では昨年度より班員が認知症カフェの運営に携わり開催している。また、介護予防事業の一環として認知症をテーマに講話依頼があれば班員を派遣していく体制を作っている。今後も感染状況に応じて、地域活動での人材育成と介護予防事業に作業療法士を派遣することを視野に入れ活動を進めていく。

## 認知症カフェへの参画

昨年度より認知症の人に携わる方を支援する目的で活動を開始し、今年度で2年目となる。偶数月にカフェを開催し、昨年度は4回、今年度は8月時点で1回開催している。県内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2回中止の判断を行った。テーマに限らずその場で話題に上がった内容に応じて情報交換や助言を行っている。認知症カフェのロゴを用いて活動のPRとしている。



## アップデート研修の実施

期 日：2021年2月11日（金）

場 所：高知県作業療法士会事務局 WEB研修会

参加者：9人

2022年度は2023年2月に開催予定。

## 認知症予防事業

介護予防事業の一環で認知症をテーマとした講話依頼があり、班員を派遣できるよう体制を作っている。内容はパッケージ化したものを準備し、開始時は班長もしくは副班長が対応し、流れが作られてくれば、班員の誰でも派遣員として講話が出来るように準備と人材育成を進めていく。



## COVID-19の影響・対応など

2020年度に続き2021年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い会議や研修会はリモート形式にて開催。長期化する新型コロナウイルス感染対策の影響により高齢者が外出自粛を余儀なくされ、地域で認知機能の低下や認知症事例が増えていると感じている。また、活動を共にする各団体との協業も停滞している。取り組みの一つである認知症カフェの中止基準は県の対応ステージに合わせ判断しており、感染拡大に伴い突然の中止判断に対応に追われることもある。withコロナ、afterコロナの視点を持ち今後の地域活動を少しずつ拡大していきたい。

